

## 提案型建設で 迎えた100周年 個々の能力が共創する会社へ

アルカスコーポレーション株式会社  
代表取締役社長

岩崎 弥一 氏



創業100年を迎えられました。

曾祖父の岩崎外次郎が1919年、地元河川の治水工事や砂利採取を生業として創業しました。1964年に岩崎建設(株)として法人化し、土木工事から建築分野へと業容を拡大します。さらに景気の波に乗って北陸3県に進出しました。

平成の初めには売上高が100億円を超え、父は北関東で郊外型の都市開発に乗り出しますが、バブル経済が崩壊。私が入社した1995

年はそんな冷え込んだ時期でした。

**入社2年後、社長に就任されます。**

会社に入ると不動産を中心とした不良資産に加え、社内の人間関係もうまくいっていませんでした。会社の再建を図るため社長に就き、不良債権の処理と同時に人的整理も進めなければいけません。痛みを伴う再建築でしたので、断腸の思いで取り組みました。時間もかかりましたが、何とか乗り切ることができました。

—土地活用の提案で業績回復—

2000年にマンションのフランチャイズ(FC)に加盟されました。

当時はバブル崩壊後、デフレ基調で工事案件も少なく、収益は悪化する一方でした。予定価格と入札に縛られる建設業界で、自分で価格を決められる仕事をしようと土地活用事業に取り組みました。

1つはロードサイドの店舗開発、もう1つがアパート・マンションの開発です。営業部隊を立ち上げ、地主さん探しから事業計画の提案、設計、コンサルタントと全てやります。そこまでやる建設会社は少なく、ノウハウを学ぶためにFCに入りました。マンションは北陸で50棟以上を建設し、商業施設は今でも多くの企業と大切な関係が続く礎となっています。

さらにはこの実績が元になり、大阪の住宅メーカーから声がかかり、関西一円で、20棟以上のマンション建設を請け負いました。

**高齢者向け住宅も多く手掛けられています。**

2008年のリーマンショックで関西のマンション建設がストップし、関西支店を縮小せざるを得なくなりました。現地採用の社員にも富山へ移ってもらうなど厳しい事業環境の中、土地活用のノウハウを活かして高齢者専用賃貸住宅(現・サービス付き高齢者向け住宅)を始めました。マンション同様に企画・提案型です。老人ホームやグループホームを含めると、50棟以上を手掛けています。

**2009年から新社名になりました。**

「アルカス」はラテン語で「虹」の意味です。お客様に笑顔を届ける架け橋となるよう、素晴らしい仕事を追求し、可能性へとチャレンジする気持ちを込めています。

—ドキドキワクワクを社訓に—

**6カ条の社訓の最初が「常に仕事を  
楽しみ、ドキドキワクワク感を  
大切にします」となっています。**

社長就任時に会社の再建のためには、会社が何を目標しているかを明確にし、社員と共有することが必要だと感じました。長かった社訓を心に届く言葉に改め、さらに10年前に今の経営に即した内容に直したものです。

**実際にはどのように人材育成を  
されていますか。**

現在「エンパワー経営」を根幹に社員教育に取り組んでいます。「エンパワーメント」は一般的に「権限委譲」と訳されることが多いのですが、「勇気づける」「エネルギーを与える」という意味があります。社員の良いところを引き出し、「ドキドキ、ワクワク、イキイキ」しながら、楽しく仕事ができる会社を目指しています。

専門家の指導のもと、若手を中心に約10人のPEP(Personal Empowerment Program)チームが中心となって、心理学や行動科学に基づいたワークショップを行っています。その学びを通じて、社員が自主的に新規事業や課題解決の「共創」に取り組んで欲しいと思っています。

**具体的にはどのようなことですか。**

一例として、会議の席順は従来

### 略歴

1964(昭和39)年7月、南砺市(旧福野町)生まれ。立教大学経済学部卒業、大和証券(株)勤務、萩山教職代議士、鈴木宗男(現)両代議士秘書を経て、1995年岩崎建設(株)(現アルカスコーポレーション(株))入社、97年から社長。現在、富山県建設業協会理事、南砺市商工会副会長を務める。

のような序列順ではなく、若い社員からも活発な意見が出るように、意識的にバラバラにしています。社員も「社長が身近だ」と言っており、良いことだと思います。

私は細かいことに口出しせず、できるだけ任せるようにしているのですが、責任のある中間管理職の中には指示命令をする際、目的や意味を考えさせることが足りなく、任せて育てる機会を十分に与えていない人もいて、理想の会社にはまだまだです。

**働き方改革への取り組みは？**

時短や有給休暇の消化だけではなく、本質は生産性の高い会社にする事です。今、建設業は大変な人手不足で、協力会社も少なくなる中で、限られた人数で高いパフォーマンスを発揮する必要があります。よりエンパワーすることで高い生産性を実現でき、また、当社を選んで入社する人も増えてくるだろうと思っています。

もう1つはデジタルシフトです。人時生産性向上のために、来年度からICTを導入する予定です。単なる省力化だけでなく、働く人がよりクリエイティブに仕事ができるようにしたいと思います。

**今後の事業展開を教えてください。**

土地活用提案の1つとして、障がい者向けグループホームや就労継続支援事業所の建設を始めました。高齢者住宅と同様、誰もが笑

顔で活躍できる世の中を作りたいとの思いで取り組んでいます。

老老介護と同様、障がい者家族の高齢化なども問題となっています。日本でパラリンピックが開催される機会に、障がい者への理解が進み、健常者と共存共栄できる社会に進むよう、当社もその応援をしたいと思っています。建設だけでなく、自社でも就労支援、自立支援の新規事業を作り、新たなビジネスモデルを構築したいと考えています。

当社は建設業であることに変わりありませんが、3つの仕事をしていると考えています。「国民の生活を守る社会資本整備」、「お客様の事業の成功のサポート」、そして「社会的に困っている人の活躍のサポート」です。このドメインの中で、色々な事にチャレンジしていきたいと考えています。

**座右の銘をお尋ねします。**

「人生二度なし」です。教育者の森信三氏の言葉です。私は30代の時、入院したことがあり、「人生は一度きり、目の前の時間を有意義に生きていこう」と強く感じました。若い人も時間の有限性に気付いて、有意義な人生を送ってほしいと思っています。

### 会社概要

アルカスコーポレーション株式会社

創業：1919(大正8)年

所在地：南砺市長源寺89

資本金：2億7,624万円

事業内容：建設工事、土地活用事業、不動産業、生コンクリート・アスファルトの製造・販売、土石採取、石油類販売ほか

従業員数：87名(2019年10月末現在)

売上高：54億9,800万円(2017年12月期)

事業所：富山支店、関西営業所

関連会社：バイオニア運輸(株)、岩崎資源開発(株)

URL：<https://arcus-corp.com/>



安全パトロール中